

豊田版



桜
山田まり子
アート悠

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

豊田支局 〒471-0024
豊田市元城町4-30-5
0565-31-3200 Fax31-3203
岡崎支局 〒444-0863
岡崎市東明大寺町16-18
0564-22-1661 Fax25-1554
刈谷通信局
0566-21-0077 Fax26-0285
安城通信局
0566-76-3355 Fax76-0900
西尾通信局
0563-56-3135 Fax56-3136
碧南通信局
0566-41-0468 Fax43-1047
豊橋総局
0532-52-7181 Fax54-4655

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

広告のお申し込みは
広告局三河アドセンターへ
岡崎 0564-23-3051(代)
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

コモ・スクエアに 県産の再生エネ

中電ミライズ 豊田で初提供



愛知Greenでんきの証明書を持つ中村さん―豊田市喜多町のコモ・スクエアで

中部電力の販売子会社、中部電力ミライズ(名古屋)は、県産の再生可能エネルギー「愛知Greenでんき」を、豊田市喜多町の複合商業施設「コモ・スクエア」に四月一日から市内で初めて提供する。複合商業施設としては県内初。地産地消エネルギーで脱炭素社会に貢献していく。(服部桃)

脱炭素社会に貢献「環境への先行投資」

愛知Greenでんきは、県内の水力発電所二十一カ所で発電した電気に特化した電力販売サービス。豊田市を流れる矢作川水系には県内の水力発電所の八割が集中する。中部電力ミライズは法人向けを三月から始め、コモ・スクエアを運営する「豊田市駅前通り南開発」のほか、名古屋テレビ塔など四社が導入第一号として発表されている。南開発はコモ・スクエアで、これまでも脱炭素社会の実現に向け、省エネ機器の導入などさまざまな取り組みを進めてきた。コモ・スクエアでは今後、入居テナントを含めた使用電力のうち年間百万キロを愛知Greenでんきでまかなう。これにより、二酸化炭素(CO₂)排出量は年間四百トほど削減できるといふ。通常の電気料金より高額だが、費用負担の増額はテナント料には転嫁せず、現在の経営状況の中で回収できる見込み。一年契約で、継続はその都度判断する。南開発の執行役員中村礼二さん(五十)は、愛知Greenでんきの導入について「環境に対する先行投資と考えている」と意義を語った。